



株式会社つくし巧芸

2023 年度 環境経営レポート

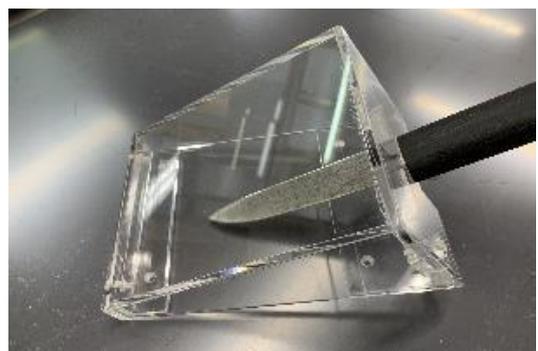
(対象期間: 2023 年3月1日～ 2024 年2月29日)



作成日: 2024年5月15日
更新日: 2024年8月6日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要および認証・登録の対象組織・活動	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	7
緊急事態対応訓練	7
代表者による全体の評価と見直し・指示	8



□ごあいさつ

「全社員物心両面の幸福を追求するとともに 人類社会宇宙自然の生成発展に貢献します」

株式会社つくし巧芸は、全社・全社員と共に弊社の経営理念を追求実践することにより、会社の利益のみを求めるのではなく、全社員・社会の利益・幸福を生み出し将来の社会・世界・地球環境の一助となるように一日一日の生活・活動を大切にします。

環境経営方針

<環境経営理念>

我々は生産活動によって利益のみを成果とするのではなく、材料・資材を大切に使用し廃材・端材を最小限に抑える努力と工夫を続けることで会社を維持発展させ、地球温暖化や地域の環境活動にも積極的に取り組み貢献します。

<環境保全への行動指針>

1. お客様と良好なコミュニケーションにより環境と人にも配慮した製造・サービスに努めます。
2. 廃棄物の発生抑制と分別によりリサイクル率の向上に努めます。
3. 接着剤など薬品の適正管理・健康管理に努めます。
4. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
5. 「完品提供100%」を重点テーマとして具体的活動を展開します。
6. 創意工夫による省エネルギー活動により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
7. 適正な水使用量の維持・管理に努めます。

上記行動指針を実践することで、継続的改善により売上を伸ばし環境効率の向上を図ります。

制定日：2019年9月12日

改定日：2022年5月27日

代表取締役 **松尾 尚**

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社つくし巧芸
代表取締役 松尾尚
 - (2) 所在地
本 社 大阪府大阪市浪速区戎本町2-6-11
東京支店 東京都江東区新木場1-8-11
 - (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 松尾尚 TEL：06-6648-1105
 - (4) 事業内容
アクリル樹脂加工・ディスプレイ製品製作・サイン製品製作・施工
 - (5) 事業の規模
売上高 14,580 万円
- | | 本 社 | 東京支店 | 合計 |
|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 従業員 名 | 14 名 | 4 名 | 18 名 |
| 延べ床面積 m ² | 427 m ² | 241 m ² | 668 m ² |
- (6) 事業年度 3 月 1 日 ~ 2 月 末 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社つくし巧芸
対象事業所： 本 社
東京支店

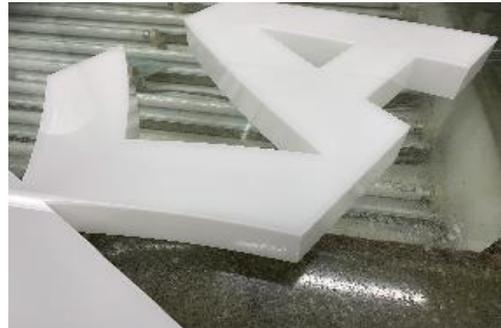
対象外： なし
活動： アクリル樹脂加工・ディスプレイ製品製作・サイン製品製作・施工

□事業や製品(商品)の紹介

アクリル造作・演示具

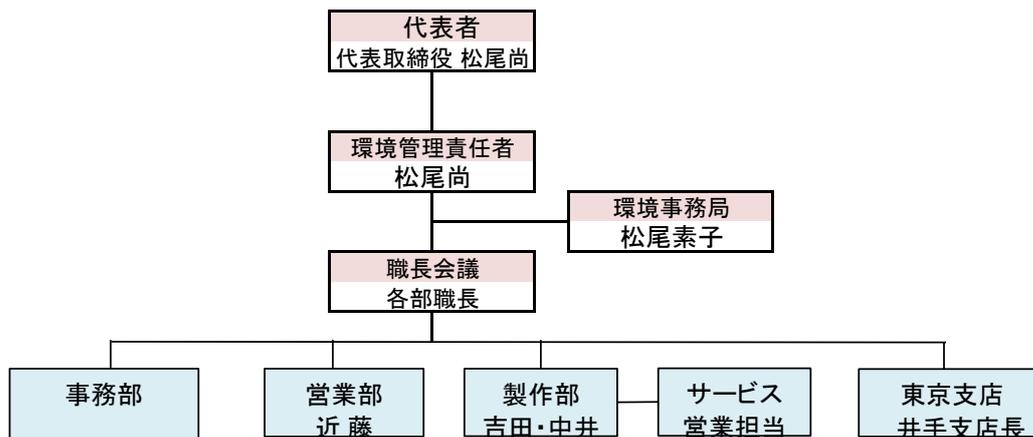


アクリルサイン



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年2月29日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、職長会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
職長会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

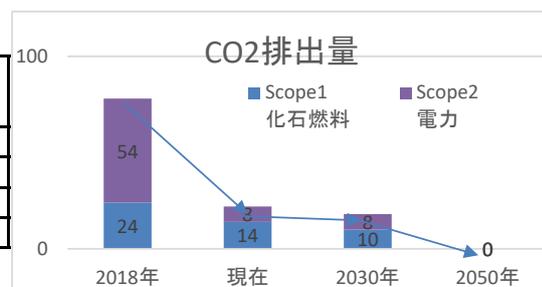
項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	60,192	14,168	14,404
廃棄物排出量				
一般廃棄物	kg	60	51	51
産業廃棄物排出量	kg	14,247	10,744	10,939
水使用量	m ³	216	219	273
※二酸化炭素排出係数 調整後の係数	本社	0.680	0.000	0.000
	東京支店	0.577	0.468	0.468

kg-CO₂/kWh
kg-CO₂/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対策
2018年	24	54	
現在	14	8	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	10	8	省エネ+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+電気自動車+再エネ電力



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	53,740		7,718	-		
	基準年度比	2018年		14%			
電力使用量の削減	kWh	82,748	74,473	64,155	○	74,473	74,473
	基準年度比	2018年	90%	78%		90%	90%
自動車燃料による二酸 化炭素削減	kg-CO ₂	24,042	20,436	14,255	○	20,436	20,436
	基準年度比	2018年	85%	59%		85%	85%
上記二酸化炭素排出量合	kg-CO ₂	77,782		21,973	-		
一般廃棄物の削減	kg	60	60	60	○	60	60
	基準年度比	2018年	100%	100%		100%	100%
廃プラスチックの発生抑制及 びマテリアルリサイクル率向 上	%	-	50%	45%	×	50%	50%
水道水の削減	m ³	303.0	272.7	273.0	×	273	273
	基準年度比	2018年	90.0%	90.1%		90%	90%
溶剤の性質の理解と適 正使用・管理	行動目標次項による)						
環境に配慮した製造・ サービスの推進	行動目標(次項による)						
「完品提供100%」の推 進	行動目標(次項による)						

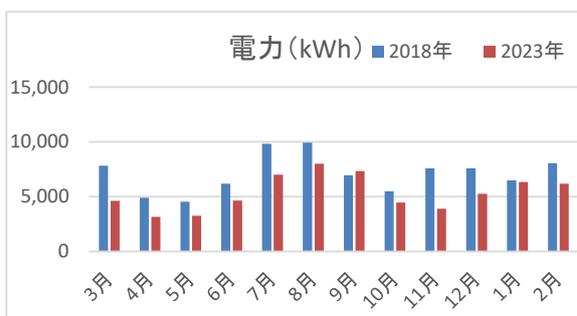
※経営の課題とチャンスにかかわる目標として社内外の良好なコミュニケーションにより正確でスピーディーな情報共有を図り生産効率を高め受注売上をアップさせる取り組みを月例テーマとし各職場において表示し活動を促します。

口環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △まあまあできた ×できなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	夏場の室温コントロールの為エアコンの設定温度は低めであるが、常時熱中症対策共連動している。空調機の管理・清掃や点検はしっかりできている。 使用していない作業場所・事務所の照明の消灯は短時間でも消灯が励行されている。 電力削減は78%と達成しています。前年度(73%)と比べ78%と増えているが、コロナの5類以降に伴い業務の時短解除が影響していると考え
・空調フィルター清掃使用期間の各週末	○	
・不要照明の消灯	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・役割分担による生産工程の待機時間短縮	○	
・温度計の設置	○	



取組紹介欄



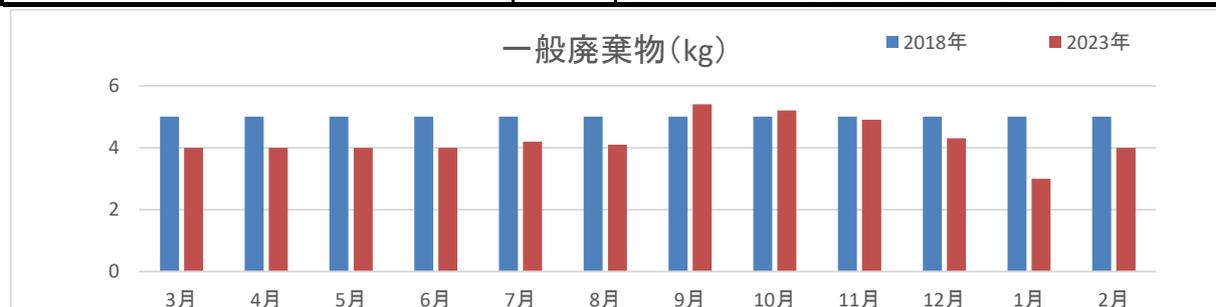
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	7,817	4,898	4,542	6,174	9,819	9,925	6,944	5,502	7,598	7,598	6,496	8,068
2023年	4,615	3,163	3,262	4,642	7,013	7,993	7,335	4,459	3,902	5,266	6,332	6,173

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	59%と目標を達成している。
・安全で効率的なルートで配送	○	対売上比率を考えると、前年58%と今年度と横ばいである。
・エリア別営業活動の見直し	○	引き続き85%の目標とするが、それ以上の削減に努める。
・納期確保の上、宅配等の活用	○	
・営業担当の予定を共有し配送回数を減らす	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	744	938	687	1,127	842	785	894	937	896	1,023	804	684
2023年	900	442	437	548	461	439	582	496	461	536	352	492

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。FAXのメールにて受信ができており不要なプリントの削減はできている。PC画面での確認や打合せ、作業指示の参考資料としてはプリントアウトして
・分別の徹底	○	梱包材エアキャップなどのリユースに努めており、梱包に透明セロテープから赤色セロテープに移行に努めており、開梱作業の短縮やセロテープ使用量の削減につなげる。
・両面印刷の活用	○	
・梱包材の再利用	○	



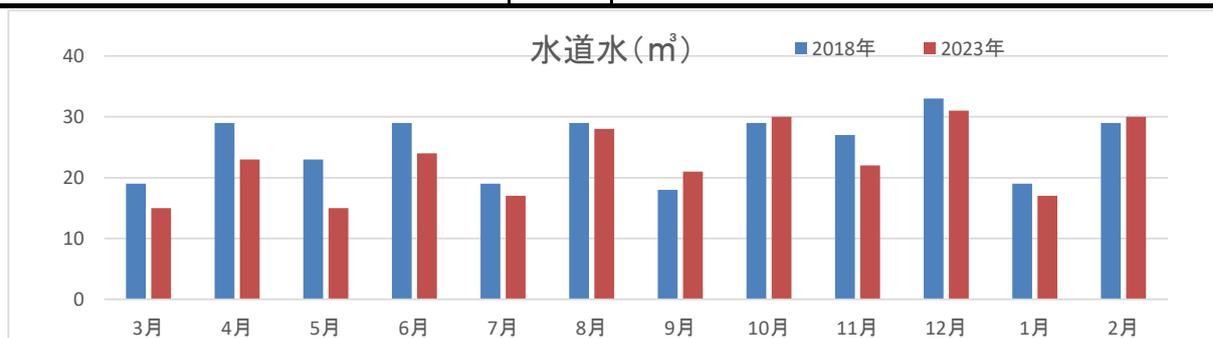
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2023年	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	4	4

廃プラスチックの発生抑制及びマテリアルリサイクル率向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	45%で50%の目標は達成されていない。
・分別の徹底	○	国内のマテリアルリサイクルが確立していない中でも、細かい端材の処理も養生紙などを剥がすなどして、引き続き50%以上を目指す。
・マニフェストの重量計算方法等の確認	○	
・材料取りの工夫による端材削減	○	
・端材の有効利用	○	
・材料メーカーの選定・集約	○	

取組紹介欄



水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	わずかに目標未達成。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	コロナ5類に移行し、定時フルタイムで活動しているのと夏場の気温上昇が影響していると考えられる。引き続き90%を目標とする。
・トイレに擬音装置取り付け	○	
・漏水点検	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	19	29	23	29	19	29	18	29	27	33	19	29
2023年	15	23	15	24	17	28	21	30	22	31	17	30

溶剤の性質の理解と適正使用・管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・溶剤の性質・特性・悪性の理解	○	SDS評価及び特定化学物質健康診断(製作部門社員年2回/営業・管理部門社員年1回)行っており、理解が良く浸透している。
・使用環境の改善	○	
・溶剤の施錠保管の徹底	○	
・発注量の適正化	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・在庫管理による不良在庫の削減	○	

取組紹介欄



環境に配慮した製造・サービスの推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
0	0	エアキャップのリユースは大筋で来ている。
・作業ミスの防止	△	完品提供100%を目標に掲げ営業・製作共に共有理解に努めているが伸びしろはまだある。
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄ごみの回収持ち帰り・分別処理	○	
・プチプチ再利用	○	

「完品提供100%」の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・製作伝票が基本	△	つくしマンダラチャートの「完品提供100%」を重要ポイントにあげて営業・製作が工程ごとにセルフチェックし、不明点・問題点は即時確認と相談の上共有するように努めて不良品出荷が減っている。引き続き務めていく。
・不明点の即時確認と回答報告	△	
・明確で分かり易い指示	△	
・添付資料を確認する	△	
・設備機械のメンテナンス	△	
・検品出荷	△	

取組

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス等)
騒音規制法	空気圧縮機・集塵機
フロン排出抑制法	業務用空調機
労働安全衛生法	溶剤(接着剤)、職場環境、安全衛生
顧客要求事項	情報漏洩、落下事故防止、品質

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□環境に関する外部からの苦情等
対象期間中はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/4/17～4/27	■実施場所： 大阪本社
■参加者： 全員	■実施内容： 大阪中央消防署HP「教育型消防・防災訓練」
■評価： コロナ禍で集まることを避けてWEBにて訓練を初めてしたが、理解度チェックシート・防火防災セルフチェックシートによって理解度が深まった	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 設定期間内に全社員それぞれが自分の時間都合でWEB訓練を行った。	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/4/17～4/27	■実施場所： 東京支店
■参加者： 全員	■実施内容： 大阪中央消防署HP「教育型消防・防災訓練」
■評価： コロナ禍で集まることを避けてWEBにて訓練を初めてしたが、理解度チェックシート・防火防災セルフチェックシートによって理解度が深まった。実際にその当時消火器期限切れに気づき交換した。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 設定期間内に全社員それぞれが自分の時間都合でWEB訓練を行った。	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月10日

この1年「問題解決型企業」「どうやったらできるか？」を総合テーマとしEA21では「完品提供100%」を重点テーマとした活動を通じてほぼ目標をクリアした。「先行・確認・前倒し+集中」を継続推進していくことで'18:'23年度上半期時間当たり生産高比較では22%生産性が向上した実績を維持しコロナ5類移行後売り上げの回復を目指したが、ディスプレイ業界はコロナ禍の影響がこの年度も続き回復が遅れている。

日頃社内外の課題・問題を社員達と抽出しマンダラチャートにまとめ、日々自分たちの課題と向き合うようになってきており、'24年度は「お客様の期待の一步先を！！」どうやって実現するか？を総合テーマに、EA21では更に「完品提供100%」を追求する活動を推進する。

SDGsの浸透について、今できている取組が全員がわかるように各ポイントにSDGsロゴシートを掲示することによってさらに深い理解と意識・活動が継続・向上するよう啓発に努める。

昨年に引き続き、EA21取組体制について、つくしマンダラチャートを基に、全員が参加する年3回全体会議（みんなの会社をよくする会議）にて行う。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり